

教育
広報

あきる野の教育

2021 (令和3)年3月1日 編集・発行 あきる野市教育委員会 〒197-0814 あきる野市二宮350 ☎042(558)1111(代)

WITH コロナの



新しい学校生活

サーモグラフィを用いて体温測定をし、生徒たち自身が率先して体調管理に努めています (写真：五日市中学校)

新型コロナウイルス感染症に係る学校の対応

【学校での集団感染を防ぐために】

- ・登校時に健康状態が確認できない児童・生徒には、学校で教室に入る前に検温及び健康観察を実施しています。
- ・児童・生徒がよく手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）や共用物について、消毒液を浸した布巾やペーパータオルで拭き消毒を行います。
- ・感染拡大状況に応じ、一定の制限をして教育活動を行います。

【学校内に陽性者が判明した場合の対応について】

- ・陽性者の学校での行動歴を調査し、感染拡大のおそれがあると判断される場合には、急遽の下校や臨時休校、学年・学級閉鎖の措置をとることがあります。

保護者の皆さまへ

〈学校登校前〉

お子さまに「熱っぽい」「喉が痛い」「体がだるい」等の症状がある場合は、登校を控え、自宅静養に努めてください。

〈学校登校後〉

お子さまに発熱症状が見られたり、「喉がいつもより痛い」「咳が出て苦しい」との訴えがあった際には、感染の可能性があると判断して、ご自宅に連絡し、帰宅することを勧めさせていただきます。下校するまでは、保健室とは別の部屋で静養させます。

〈下校後〉

下校する理由となった症状が帰宅後も良くならない場合は、相談窓口への相談、病院での診療、検査をお勧めします。



※児童・生徒をはじめ、同居のご家族等が感染したり、濃厚接触者に特定されたり、PCR検査等を受けたりした際には、学校までご連絡ください。個人情報保護は徹底いたします。

新型コロナウイルス(COVID-19)の収束への見通しは未だに立っていません。そのような中で各学校は、様々な感染防止策をとりながら教育活動を行っています。また、家庭でも地域でも工夫を凝らして日常の生活を送っています。

感染予防という大きな負担を抱えながらの生活ですが、今は、我慢を続けるしかありません。

新型コロナウイルスは、突然現れ、私たちの生活を混乱させています。先が見えない、答えが出せない問題に立ち向かっている状況で、どんよりとした空気の重

さを感じています。

この重苦しい空気の中で脳裏をよぎること、思いを巡らすことは、これからの時代、答えのない問題がより多くなるのではないかと感じています。未知の世界をどのように生きていくのか、答えのない課題に取り組む資質や能力が、今、求められているのだと思います。

令和2年度から小学校で、3年度からは中学校で新学習指導要領の下での教育課程になります。新学習指導要領の基本的方向性は、「人間の予測を超えて社会が変化している時代を生きるには、その変化に受け身では

なく主体的に向き合っていくこと、自らの可能性を發揮することが求められる。そのための資質、能力の育成と学習評価の充実を図ることを示しています。

「コロナ後を生きる子どもたち」には、学習指導要領に基づき基礎学力をつけることは勿論、加えて、正解がない不確実性を学び、逆境にめげない忍耐力を身に付けることも、新たな分断や差別が生まれている状況から、利他の精神と恕(思いやり)の心を養う教育にも、力を注ぐ必要があると考えているところでもあります。

コロナ禍の 先の教育

あきる野市教育委員会
教育長
私市 豊

